

タイトル 相手の立場で考えよう ～障害のある人の人権を考えて～				
テーマ・目標 障害のある人のおかれている現状や改善策について話し合うことを通し、障害のある人についての理解を深め、障害のある人の立場に立った支援について考える。				
対象者／人数 () / ()人			日程・時間 目安の時間 90分	
時間	ねらい	場面／アクティビティ／問い		場の設定
1 10分	本日の研修の雰囲気づくりをし、本日のテーマに入りやすくする。	導入：「自己紹介」 ○ファシリテーターのあいさつ ○「アドジャン」(0～5本のどれかを出すジャンケン)をして、テーマについて一人ずつ紹介する。		島型 4～5人
2 30分	封筒の中のシートに書いてある障害のある人の悩みについて、グループで考えアドバイスする。	展開①：ディスカッション「何ができる？」 ○封筒を1つ選び、その中にあるシートの内容について、グループの人に紹介し、書かれている悩みを解決するためのアドバイスをもらう。 ○もらったアドバイスは、シートにメモをするようにする。		封筒 (班の人数分) シート
3 25分	同じ封筒のシートを選んだ人が集まり、アドバイスしてもらったことをまとめ、発表する。	展開②：ウォールライティング「考えを広げよう」 ○同じシートを選んだ人同士でグループになり、①でもらった主なアドバイスを付箋紙に書き出す。 ○付箋紙の内容をお互いに紹介して模造紙にはっていき、同じ意見や似た意見を分類し、タイトルをつけるなどして、整理する。 ○話し合った内容について、模造紙を提示しながら、グループの代表が順番に発表する。		付せん紙 模造紙 マーカーペン
4 15分	誰もが暮らしやすい地域にするために、できることについて話し合う。	展開③：ブレインストーミング「私たちにできること」 ○誰もが暮らしやすい地域にするためにできることについて考え、ワークシートに記入する。 ○グループ内で紹介し合う。 ○グループごとに発表し、全体で共有する。		ワークシート
5 10分	研修を振り返り、今後の意識、行動の変容につなげる。	まとめ：チェックアウト ○研修を通して学習したことを、今後どのように生活に生かしていくかをワークシートにまとめる。 ○感想を数名に発表してもらう。 ○ファシリテーターの話。		チェックシート ワークシート
準備物 ・ワークシート ・シート ・付せん紙 ・模造紙 ・マーカーペン				

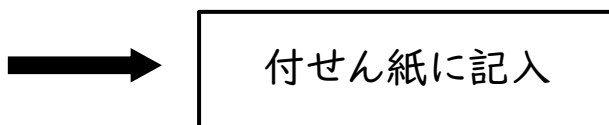


相手の立場で考えよう ~障害のある人の人権を考えて~

【1】 シートに書かれている内容について、障害のある人の悩みを解決する方法を考え、具体的なアドバイスをしてください。

<アドバイスしてもらった内容メモ>

【2】 【1】の主なアドバイスを付せん紙に記入して、グループ内で紹介してください。



【3】 誰もが暮らしやすい地域にするために、私たちにできることはどんなことですか。具体的に考え、書いてください。

【4】 本日の研修を通して、思ったことや今後の生活に生かしていきたいことはどんなことですか。

【資料】

< シートA >

【自己紹介】 50代 男性 会社員

【私の悩み】

私は先天的な弱視で、ほとんど目が見えません。電車で通勤していますが、駅のホームが混みあっていて多くの人とぶつかってしまったり、点字ブロックが分かりにくくてホームから落ちそうになったりしたことがあります。電車の出発時刻や乗り場が分からないことが多く、いつも困っています。

また、会社では机上に説明なくプリントを配付されたり、通路に物が置いてあったりして困ることがあります。近くの人にサポートしてもらいたいことが多いのですが、自分からなかなか声かけをすることができません。どうしたらいいでしょうか。

< シートB >

【自己紹介】 30代 女性 スーパー勤務

【私の悩み】

私の娘は、小学校3年生です。娘は発達障害の診断を受けており、多動傾向にあります。授業中は先生によく注意されることが多く、時には叱られることもあります。最近は、クラスの友達からも強く注意されることが増え、学校でつらくて泣いてしまうこともあるようです。そのため、学校を休みがちになっています。

家では、宿題をなかなかしようとしなかったり、親の言うことを聞かなかったりするので、私がイライラしてしまい、つい大きな声で注意することがあります。家族の手伝いや片付けなど、言われなければしないので困ります。どうしたらいいでしょうか。

< シートC >

【自己紹介】 20代 男性 大学生

【私の悩み】

私は小学生の時に交通事故に遭い、現在は車いすでの生活を余儀なくされています。電車を利用する時は、駅員さんにサポートしてもらい乗り降りするのですが、少し時間がかかるためか、周りの人から嫌な顔をされることがあり、いつも申し訳なく思っています。

大学の教室によっては、段差やスペースの関係で黒板横の目立つ場所で受講を強いられます。普段からスロープやエレベーターがない建物があったり、多目的トイレが少なかったりして困ることが多いです。また、歩道の段差が大きい場所や通路に自転車が置いてある場所があり、危険な時もあります。どうしたらいいでしょうか。

< シートD >

【自己紹介】 60代 女性 年金生活者

【私の悩み】

私は聴覚に障害があり、耳が聞こえません。地域の会合や老人クラブの集まりに参加することがありますが、手話通訳者がいないので話の内容が分かりません。他の人は笑って楽しそうな時でも、こちらから話の内容を筆談でたずねるまで、教えてもらえません。

時々、電車を利用しますが、電車の遅延やトラブルなどについて、駅内のアナウンスでしか知らされないことがあり、情報を得ることができないことがあります。台風情報や防災無線などの緊急時情報についても、気付かずいつも不安な気持ちになります。どうしたらいいでしょうか。

< シートE >

【自己紹介】 40代 女性 会社員

【私の悩み】

私の息子は中学校2年生で言語障害をもっています。発音が不明瞭であったり、話し言葉のリズムがスムーズでなかったりするため、話し言葉によるコミュニケーションが円滑に進みにくいです。国語科や総合的な学習の時間などの発表時には、黙ったままで発表することができません。

また、自分から友達に話しかけたり、進んで活動に取り組んだりする姿が、以前に比べてあまり見られなくなってきました。これから、高校入試の面接、高校生活の友人関係、社会人になっていくことなどを考えると、とても心配になります。どうしたらいいでしょうか。

< シートF >

【自己紹介】 30代 男性 公務員

【私の悩み】

私は、体に内部障害をもっています。肝臓機能に障害があり、他の人よりも疲れやすかったり、体調不良になりやすかったりします。外見では分かりにくく、周りの理解を得にくいのです。

職場では、勤務時間中にしんどさから目をつぶって作業を休むことがあり、班長から「仕事なんだからきちんとしてよや。」と言われたり、同僚から仕事熱心ではないとささやかれたりしています。また、課長には障害のことを伝えていますが、「ちょっと休む日が多すぎないかな。」とか「飲み会も仕事のようなものだから参加してね。」などと言われることがあり、悲しい気持ちになります。どうしたらいいでしょうか。